

1 都市づくりの基本理念

本市は、広域的な都市機能が集積する知多地域の拠点都市として、更なる生活利便性の向上や公共交通ネットワークの拡充等により暮らしやすさを追求し、人口減少、少子高齢化が進行する中でも、生涯にわたり市民が暮らし続けたいと思う都市づくりを推進します。

また、将来にわたる地域経済の発展のため、広域交通の利便性の高さを活かした新たな産業の集積や、これまで育まれてきた歴史・文化・自然資源等の活用により、豊かで活力ある持続可能な都市経営を図ります。

活気に満ちあふれた、暮らし続けたい都市・はんだ

2 都市づくりの目標

都市づくりの基本理念の実現に向けて、以下の目標を定めます。

目標1 高い利便性を確保し、選ばれる都市づくり

- ・鉄道駅周辺では、日常生活に必要な都市機能の集積や公共交通ネットワークの拡充による、市民の生活利便性の向上を図り、生涯にわたって便利で快適に暮らせる都市を目指します。
- ・中心市街地の賑わいの創出に向けて、魅力のある都市空間を形成し、誰もがまちに出て歩きたくなる都市を目指します。

目標2 安心し、安全に暮らせる都市づくり

- ・大規模な地震や高潮・土砂災害等の自然災害から市民の生命・財産を守るため、防災・減災対策を進め、安心・安全に暮らせる都市を目指します。
- ・市民のニーズを踏まえたバス路線網の改善や歩行空間の安全性の確保により、自動車を利用しなくても安心して移動できる都市を目指します。
- ・空き地・空き家の適切な管理・有効活用の促進により、誰もが安心して生活できる都市を目指します。

目標 3 活発な経済活動により人・物が盛んに対流する都市づくり

- ・多様な既存産業の振興を図りながら、広域交通の利便性を活かした新たな産業の集積につながる企業誘致を進め、人・物が盛んに対流する都市を目指します。

目標 4 歴史・文化を感じ、愛着と誇りをもてる都市づくり

- ・山車・蔵・南吉・赤レンガに代表される地域資源の保存・継承や活用により、様々な人の対流や交流を促進することで、世代をこえて市民がつながる賑わいのある都市を目指します。
- ・地域との連携による優れた景観の保全・形成により、愛着と誇りをもって暮らせる都市を目指します。

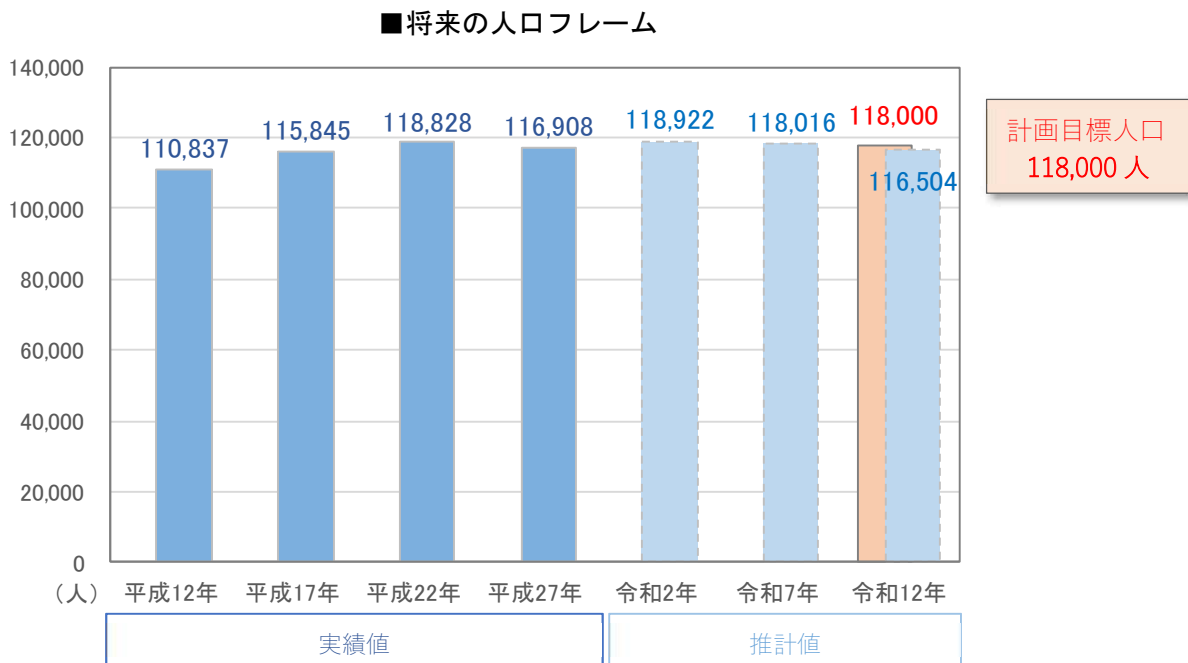
目標 5 自然との共生によりうるおいと安らぎを感じる都市づくり

- ・樹林地、河川、ため池等の身近な自然環境を保全することで、生物の多様性と生態系の適正な維持を図り、うるおいと安らぎを感じる都市づくりを目指します。

3 将来都市フレーム

将来（令和12年（2030年））の人口フレームは、第7次半田市総合計画に合わせ118,000人を目標とします。

また、工業フレームは、市内総生産額を225,000百万円に設定します。



都市拠点

①中心拠点

(名鉄知多半田駅・JR半田駅周辺から市役所周辺までのエリア)

- ・ 公的サービス・商業・文化等の基幹的な都市機能の充実と利便性の高い生活空間の創出に併せ、高度利用を図る拠点到位置づけます。

②地域拠点

(中心拠点以外の鉄道駅周辺)

- ・ 駅周辺の利便性を高める施設や各地域の特性に応じて必要となる機能を確保し、中心拠点と連携した公共交通ネットワーク等の整備を図る拠点到位置づけます。

機能別ゾーン

①新土地需要ゾーン

(石塚町・中億田町・知多半島道路のインターチェンジ・十三塚町周辺)

- ・ 新たな産業等の土地需要に対応するゾーンに位置づけます。

②水辺ふれあいゾーン

(半田運河周辺、阿久比川・稗田川・矢勝川・十ヶ川・神戸川・平地川沿い、七本木池・宮池周辺、半田緑地・亀崎海浜緑地周辺)

- ・ 自然や水辺にふれあい、散策、レクリエーションを楽しむことができるゾーンに位置づけます。

③歴史・文化・観光ゾーン

(歴史的・文化的景観を有する半田運河周辺と岩滑地区をつないだエリア、潮干祭のある亀崎地区、図書館・博物館・空の科学館周辺)

- ・ 歴史・文化等を活用した都市づくりを進めるゾーンに位置づけます。

④健康・スポーツゾーン

(半田運動公園周辺)

- ・ 運動公園や地域医療の中核を担う病院の立地により、市民生活の健康増進やスポーツ振興を促進するゾーンに位置づけます。

(地区公園周辺)

- ・ ウォーキングや散策、スポーツ活動等の場として機能するゾーンに位置づけます。

土地利用

① 市街地ゾーン

(市街化区域の住居系・商業系用途地域、市街化区域周辺の住宅地)

- ・ 日常的に利用される商業施設等が立地し、住環境が整ったゾーンに位置づけます。

②工業ゾーン

(工業地域及び工業専用地域)

- ・ 工場や事業所が立地するゾーンに位置づけます。

(臨海工業地に隣接する市街化調整区域)

- ・ 新たな産業等の土地需要に対応するゾーンに位置づけます。

③農業・自然環境ゾーン

(その他の市街化調整区域)

- ・ 農地や樹林地、河川、ため池等の自然環境を保全するゾーンに位置づけます。

交通軸

①南北交通軸 自動車専用道路：知多半島道路、南知多道路

都市計画道路：知多東部線、衣浦西部線、山方新田線、名古屋半田線

②東西交通軸 自動車専用道路：知多横断道路

都市計画道路：常滑半田線、知多西尾線

③環状交通軸 都市計画道路：環状線

④公共交通軸 鉄道：名鉄河和線、JR武豊線